

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成30年5月10日(2018.5.10)

【公開番号】特開2016-211952(P2016-211952A)

【公開日】平成28年12月15日(2016.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-068

【出願番号】特願2015-95536(P2015-95536)

【国際特許分類】

G 21 F 9/30 (2006.01)

G 06 Q 50/08 (2012.01)

G 06 Q 10/06 (2012.01)

【F I】

G 21 F 9/30 5 3 5 F

G 06 Q 50/08

G 06 Q 10/06 1 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月14日(2018.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

解体対象物に関する解体工程中の一作業の前後の三次元空間線量率を、前記解体対象物の3次元モデルに基づいて算出する線量率計算処理部と、

前記線量率計算処理部で算出された三次元空間線量率と、前記解体工程の作業時間とに基づいて、前記作業を含む解体工程における作業員の被曝線量を見積もる被曝線量見積部と、

前記作業員の被曝履歴と、前記被曝線量見積部での見積結果とに基づいて、前記作業員の従事する作業工程を含む解体工程を作成する解体工程生成処理部とを備えたことを特徴とする解体手順計画システム。

【請求項2】

請求項1記載の解体手順計画システムにおいて、

前記解体工程生成処理部により生成された解体工程に基づいて、

前記解体対象物が配置されている解体エリアと、前記解体対象物と、前記解体対象物の解体を行う作業員とを三次元情報として可視化し、表示装置に表示する動画画像生成部を備えたことを特徴とする解体手順計画システム。

【請求項3】

請求項2記載の解体手順計画システムにおいて、

前記動画画像生成部は、前記作業工程における前記作業員の配置位置、作業姿勢、移動経路を可視化された三次元情報内に表示することを特徴とする解体手順計画システム。

【請求項4】

請求項2又は3記載の解体手順計画システムにおいて、

前記可視化された三次元情報内で、前記作業員の作業工程を変更する作業工程変更部と、

前記作業工程変更部での変更結果を反映した、前記解体工程における前記作業員の集積被曝線量を含む情報を表示する被曝線量表示部と

を備えたことを特徴とする解体手順計画システム。

【請求項 5】

請求項 2 又は 3 記載の解体手順計画システムにおいて、

前記可視化された三次元情報内に、前記作業員の被曝線量を低減するための遮蔽体を仮想配置する作業工程変更部と、

前記作業工程変更部での変更結果を反映した、前記解体工程における前記作業員の集積被曝線量を含む情報を表示する被曝線量表示部と
を備えたことを特徴とする解体手順計画システム。

【請求項 6】

請求項 1 記載の解体手順計画システムにおいて、

前記解体対象物に係る空間線量率の現場計測値に基づいて、前記解体対象物の 3 次元モデルに予め設定された放射性物質汚染量を調整する汚染量調整部を備えたことを特徴とする解体手順計画システム。